

一、遙かなる 秩父山脈

丘陵の上に 風満ち渡り

あたらしき 時代は来りぬ

旭日に 光る木立の

萌え出づる 希望を秘めて

いや高く 建てる学び舎

二、武蔵野を 流るる雲に

すそ野引く 富士が嶺清し

ああ我等 思いをこめて

ひとすじに 学び修めん

創造の 智き精神と

若き日の 崇き真実を

三、松映ゆる 狭山が丘を

朝夕に 踏みしめ歩む

揺ぎなき 我等が力

天地は いよよ広かれ

商神の 恵み抱きて

つばさもて 世界に行かん

ああここぞ 所沢商高

一、ここ狭山丘陵の一角に地の利を占める我が所沢商高は、遙かに雄壮な秩父山脈を望み、

丘陵の澄んだ空気にあたかも新しい時代の到来を告げるかのように快い風が漲っている。

本校の周囲には、さまざまの樹木が点在し、早朝の陽光にかすんで見える木立の数々は、

力強い感があり、それぞれの若木が萌えて芽を吹き、成長していくように、個性に応じ、

大きく発展の可能性を秘めて、あくまで高く校舎が建てられている。

二、武蔵野のおもかげを今に残すこの辺りの美しい葉かげの向こうに、親しく寄り添うように

すそ野を引いている富士の姿は、いかにもすがすがしく、我々に清く豊かな生命を培って

いる。その生命の象徴である富士山を仰ぎ、力を傾注して万代までも学び伝えていきたい。

それは躍進する新しい時代に即応した崇高な理想であり、又創造の精神である。

三、狭山が丘にはたくましく根を張った松が美しく映えている。この千古の松が年月を経て、

霜雪に耐え、今日あるごとく磨かれた美しさと力強さをもし出しているように、我等も

本校において朝に夕に身体を鍛え、精神と技能を錬磨しそして得た人格は不動の力となり

得た。今や天地はますます広くあってほしい。商神の加護のもと、本校で学んだ実力と

商神の恵みを抱いてつばさ(本校の校章)をはばたかせて、広い世界に発展していきたい。

ああ、ここに所沢商高があるのだ。